

「2022北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価

【企業部門】

| 賞の種類 | 活動名 | 活動概要 | 選考委員による評価 |
|--------|--|---|--|
| SDGs大賞 | <p>①循環型取り組みから生まれた再生糸を小倉織に「縞縞EARTH」</p> <p>②ハギレ・端材を活用した伝統×SDGs学び「縞縞クリエイト」</p> | <p>衣料回収から生まれた再生糸や漂着ペットボトルなどのクリーンアップ活動で回収したペットボトルを原料とする再生糸など、取り組みから生まれる循環型原料を伝統の小倉織に取り入れて、エコバッグや扇子、はし袋、風呂敷など日常で使いやすいエコアイテムを製作している。また、イベントで回収されるペットボトルを小倉織にして、次回のイベントで活用する活動も行っている。</p> | <p>北九州ならではのリサイクル産業基盤の強み、伝統文化への昇華と多様な主体の巻き込み力が見られる。環境問題を解消する高度な技術開発から、イベント会場や教育現場での実践までSDGsに関わる幅広い取り組みがなされている。また、小倉織のアップサイクルと共に、ものづくり体験の機会（学校等）を創出している。</p> |
| | 株式会社 小倉縞縞 | <p>織物工場の製造過程で出る糸の端材や加工の余りハギレで、家庭科教材やアートワークショップ開催などで活用し、子ども達に伝統と環境について学びながら楽しくものづくりできる場の創出に協力している。</p> | <p>サーキュラーエコノミーを目指したESDの深化に向けて、学校のニーズに応えながら引き続き貢献してもらいたい。</p> |

「2022北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価

【企業部門】

| 賞の種類 | 活動名 | 活動概要 | 選考委員による評価 |
|-------|---|---|--|
| SDGs賞 | <p>・日本一の御用聞き会社を 目指す！！</p> <p>・リユース品の買取・販売を通して 人と地球の「困った」を解決</p> | <p>リユース事業を通して、北九州を中心に全ての人が健康な生活と質の高い教育を受けられる社会づくりに貢献している。</p> <p>不用品回収で引き取った、まだ使える家具や雑貨などを海外市場へ輸出したり、講演会や店頭募金で寄付金を集めたりして、市内の児童施設の子どもに良質な教育の機会や施設で使用する備品を提供している。</p> | <p>環境にも人にも優しい取り組みが、複数の事業において実現しており素晴らしい。リユース事業を通して地域との関わりを深め、SDGsの3側面から課題に取り組んでいる。また、これまでの活動を踏まえて、新しい分野にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>多様な活動を展開しているので、関わった人数等の数字（定量化）を見える化して活動特性の分析をしてほしい。</p> |
| | 株式会社ライフクリエイト | | |
| SDGs賞 | <p>小学校応援団の出前授業を通じた 節水意識の啓発</p> | <p>次世代育成活動の一環として、市内の小学校で環境教育を行い、水資源の保全には、つくる人・つかう人の協働が必要なことを啓発している。</p> <p>実験や映像を交えて節水技術の進化を紹介しながら、暮らしに不可欠な水が貴重な資源であることや使用者側の節水意識の重要性を説明し、児童による節水宣言を実施している。</p> | <p>節水の大切さを小学生にも分かるように伝え、企業活動自体がSDGsを実践しており、次世代に伝える役割を果たしている。自らの企業の専門分野を活かした経営とCSRが一本化された活動が展開されている。</p> <p>専門化した教材を強みとして中等教育の現場へ貢献し、「工業の街北九州」の「シビックプライド」の育成としての更なる活動に期待したい。また、出前授業以外の取り組みも加え、会社全体の幅広い活動をしてもらいたい。</p> |
| | TOTO株式会社 | | |

「2022北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価

【企業部門】

| 賞の種類 | 活動名 | 活動概要 | 選考委員による評価 |
|-------|--|--|--|
| SDGs賞 | 日本のバッテリー安全技術で ゼロエミッション社会の実現を 目指す | <p>独自技術を搭載した商用EVの開発・販売を核に据えて、その他の充電インフラ、リユースバッテリーを使用した蓄電池・CIGSソーラーパネル・燃料電池等のEMS事業を活用した再生可能エネルギーを組み合わせるソリューションを提供している。</p> <p>脱炭素社会へ向けたイノベーションの推進や再生エネルギー100%の実現、アジア低炭素化センターを核とする環境改善の取り組みなどを行っている。</p> | <p>本業そのものが脱炭素化社会の実現に向けた事業であり、自らの団体（企業）の専門分野を活かした経営とCSRが一本化された活動の展開となっている。脱炭素に向けて、自社の技術の強みが発揮できている。</p> <p>事業の成果や波及効果が、地域にどう反映しているか検討してもらいたい。また、学校現場等で、地域におけるEV車両の正しい知識を普及する取り組みを期待したい。</p> |
| | 株式会社 EV モーターズ・ジャパン | | |
| SDGs賞 | チーム北九州 SDGsな未来へ ～北九州地域の「幸せの実現」を お手伝いし、お客さまから選ばれ 続ける保険会社を目指して～ | <p>人生100年時代を迎え、価値観が多様化する今、個々の幸せ実現に向けて、健康増進・高齢者支援・教育支援・女性活躍に貢献することで、地域の成長を目指している。</p> <p>SDGsの目標の多くは、生保事業そのものという理念のもと、花応援活動やまち美化清掃活動、子ども食堂の支援・寄付など幅広い取り組みを行っている。</p> | <p>自らの企業の専門分野を活かした経営とCSRが一本化された活動が展開され、さまざまな活動に取り組み、多くの方々へSDGsの意識浸透を図っている。</p> <p>夢授業・生命保険講座をはじめ、各種イベント・支援先での参加者の感想があればなお良い。また、支店ならではの切り口、地域への関わりポイントをアピールしてもらいたい。</p> |
| | 第一生命保険株式会社 北九州総合支社 | | |

「2022北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価

【企業部門】

| 賞の種類 | 活動名 | 活動概要 | 選考委員による評価 |
|----------------------|------------------------------------|--|---|
| SDGs 継続賞 (特別賞) | <p>地域共生型ガーデン 「エンジ村」活動 10周年</p> | <p>八幡東区の社員寮に地域共生型ガーデン「エンジ村」を併設し、地域の方と協力して子ども達に農作物・花の栽培やものづくり体験の場を提供することで、企業として持続可能なまちづくりに貢献している。</p> <p>2019年度には「情熱・先端Mission-E」との活動でSDGs賞を受賞し、その後もコロナ禍でもオンラインを併用するなど継続して実施しており、参加した小・中学生からは感謝の言葉が届いている。</p> | <p>子ども達への憩いの場づくり（栽培・ものづくり）から、ごみの再資源化まで教育され、社員にも同好会ができるなど、実践的・主体的な活動が行われている。企業と社会の中間的な関わり方を示している。</p> <p>生き生きとした活動が広がっている様子が活動写真からも伝わり、「持続可能な街づくりに貢献」との目標が実現されることを期待したい。</p> |
| | <p>日鉄エンジニアリング株式会社</p> | | |